

2021年（令和3年）度

特定非営利活動法人 子どもの森

総会議案書



お地藏さんの森（整備）



四季をまるごと体験e c oスクール



森であそぼう



春を楽しもう

日時：2021年4月25日（日）9時00分～

場所：森の学舎
もり まなびや

総 会 次 第

1. 開会のことば
2. 議長選出
- 5 3. 議事録署名人任命
4. 資格審査報告
5. 報告事項
 - I. 2020年度活動経過報告
 - II. 、 、 活動決算報告
 - 10 III. 監査報告
6. 議案
 - I. 2021年度活動方針（案）
 - II. 、 、 活動計画書（案）
 - III. 役員改選（案）
- 15 7. 議長降壇
8. 閉会のことば

お楽しみ会（11：00～）

総 会	日 時	場 所
設立総会	平成15年7月12日（土）13:00	子どもの森事務所
第2回通常総会	平成16年4月15日（木）10:30	子どもの森事務所
臨時総会（第3回）	平成16年11月19日（金）19:30	クリエイティブセンター門川
第4回通常総会	平成17年5月8日（日）10:00	門川町商工コミュニティセンター APIO
第5回通常総会	平成18年4月22日（土）18:00	門川町中央公民館
第6回通常総会	平成19年5月20日（日）16:00	ガーデンベルズ延岡エメラルドの間
第7回通常総会	平成20年5月17日（土）10:00	（仮称）森の学舎（旧西門川小学校松瀬分校）
第8回通常総会	平成21年4月25日（土）10:00	森の学舎
第9回通常総会	平成22年4月25日（日）10:00	森の学舎
臨時総会（第10回）	平成22年10月13日（水）19:30	クリエイティブセンター門川
第11回通常総会	平成23年4月24日（日）9:30	森の学舎
第12回通常総会	平成24年4月22日（日）9:30	森の学舎
第13回通常総会	平成25年5月6日（月）9:30	森の学舎
第14回通常総会	平成26年4月27日（日）9:30	森の学舎
第15回通常総会	平成27年4月29日（水/祝）9:30	森の学舎
第16回通常総会	2016年4月29日（金/祝）9:30	森の学舎
第17回通常総会	2017年4月29日（土/祝）9:30	森の学舎
第18回通常総会	2018(平成31)年4月22日（日）9:30	森の学舎
第19回通常総会	2019(令和2)年4月21日（日）9:30	森の学舎
第20回通常総会	2020(令和2)年4月26日（日）9:00	森の学舎

報告事項Ⅰ. 2020年度活動経過報告

1. 事業の成果

- 5 ① 環境プログラム（昆虫と友だちになろう、森であそぼう、春を楽しもう）を開催することで、里山等の自然体験交流と自然環境を理解してもらうための啓発活動ができた。
- ② 県北地域の親子が、10カ月間を通して自然環境を考える体験型環境学習（四季をまるごと体験 eco スクール）で、より深く多面的に自然環境を理解してもらう啓発活動ができた。
- 10 ③ 環境文庫（森の学舎）にて、森の学舎の土日活用と環境問題全般を学習できる場を提供することができた。
- ④ 放置されている里山を整備して体験型環境学習の広場作り（次年度以降も継続）の実施にて、森林環境の保全活動ができた。
- ⑤ Web ページと facebook により、活動の情報発信と環境問題の啓発活動ができた。

15 2. 事業内容（特定非営利活動に係る事業）

（1）農林漁業などの産業体験や里山等の自然体験交流事業

① 四季をまるごと体験 eco スクール（第10期）

- 20 ・実施日：5月16日（スタッフのみ）、5月30日、7月18日、8月1日、9月5日、11月14日、12月12日
（2021年）1月23日、2月13日 計9日間
- ・実施場所：森の学舎、eco スクール麦畑、五十鈴川
- ・参加者：12家族25人（内小学校3年生～6年生は14人）
- ・スタッフ：延べ7人
- 25 ・後援：宮崎県、宮崎県教育委員会、延岡市教育委員会、日向市教育委員会、門川町教育委員会
- ・助成等：子どもゆめ基金
- ・内容：地域の小学生とその保護者に対して、四季を通じた自然体験や農業体験から自然の大切さを理解し将来の自然環境の守り手に育ててもらうために、10カ月の期間を通して、同じ参加者によるスクール形式で下記のことを実施した。
- 30 1) 麦の脱穀
- 2) イカダを作り、川下りによる河川清掃
- 3) 川の生きもの調査、ビオトープの観察
- 4) ネイチャーゲーム
- 5) 樹木の二酸化炭素吸収量の計算
- 6) 麦畑づくり、麦種播き、麦踏み
- 35 7) ネイチャーワーク
- 8) 海水を使つての塩づくりとニガリ採取
- 9) 石臼による小麦挽き
- 10) パンづくり（イチゴ酵母とバター作り含む）

40 スタッフが、各回に実施する内容の準備や後片付け等を下記の通り行った。

- 5月16日：麦刈り
- 5月24日：麦脱穀の準備
- 6月27日、28日：イカダの試作
- 7月25日、31日：イカダを川へ降ろし上げるための歩道整備
- 45 8月23日：試ソーラークッキング、ネイチャーゲームの下見
- 10月15日：海水の汲みあげ
- 1日17日：4個の石臼のメンテナンス、塩作り用かまどを5カ所設置

第1回（5月16日）は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止したので、スタッフだけ

で麦刈りを実施した。

② 椎茸ホダ木の管理（ほだ場作業）

5 一昨年（2019）度の四季をまるごと体験ecoスクールでコマ打ち（植菌）して仮伏せから本伏せにした原木から、若干の椎茸収穫ができました。収穫した椎茸は、森の学舎での活動にて、味噌汁の具材として活用した。

(2) 中山間地の荒廃した里山の環境保全再生事業

① 子どもの森1号地（杉と広葉樹の混交林）

10 2006年3月に400本を植樹した子どもの森1号地は、苗木も大きくなり下草刈の必要がなくなり、センダンの樹高は3m以上になっていて、その他種の樹木も人間の背丈よりも高くなっている。現在は、自然本来の再生能力に委ね人による手入れを行っていない。

② GOCANの森（門川高校演習林災害跡の再生）

15 門川高校生と協働して実施した森林の再生活動（2007年3月に植樹、2013年3月に補植樹）をした門川高校実習林の苗木が大きくなり下草刈の必要がなく、ケヤキの樹高は3m近くなり、ヤマザクラは花を咲かせている。現在は、子どもの森1号地と同様に自然本来の再生能力に委ね人による手入れを行っていない。

20 ③ 妖精の森（放置竹林の広葉樹林への復元活動）

25 手入れがされず放置されている竹林（森の学舎裏の竹林）を、雑木林に再生し、人や動植物にやさしい自然環境と水源かん養や災害の防止など森林の公益的機能の維持増進を図るために、2009年度から継続して竹の伐採を続けていた。これまで伐採した竹林の面積は約0.2haを超え予定していた範囲の伐採は、2016年度に終了した。当年（2020年）は、2021年2月23日に伐採跡地に生えていた竹の伐採を行った。

④ お地藏さんの森（森林と水辺の体験型環境学習の森づくり活動）

活動概要：1) 体験型環境学習の広場作り（数年かけて実施し、森林の体験型環境学習に活用）。
2) 樹木伐採や枝打ち等を行いフィールドへの登降道の整備。

30 参加者：延べ34人

活動日と内容：6/7 お地藏さんの森と松瀬川の間にある廃道の整備
7/5 松瀬川に降りるための道予定地の草刈りと低木伐採
9/20 松瀬川に降りるための道作り
10/4 同上
35 10/24 同上
12/20 お地藏さんの森と松瀬川の間にある廃道の整備
2/7 成迫先生を招いて樹木の調査、樹木プレートの設置

(3) 地域の自然環境などを理解してもらうための啓発活動

40 ① 森を活用した自然体験交流（昆虫と友だちになろう）

・実施日：10月18日

・実施場所：森の学舎

・参加者：子ども=5人、付き添い保護者=2人

・スタッフ：5人

45 ・講師：新開孝氏（昆虫写真家、昆虫図鑑・絵本著者）

・後援：宮崎県、宮崎県教育委員会

・助成等：子どもゆめ基金

・取材：ケーブルTVワイワイ

50 ・内容：新開さんの案内で、昆虫を探しながら森の学舎周辺を散策した。写真撮影にむいている昆虫が見つかったら、新開さんから昆虫の名前や特徴の説明があった。森の学舎グラウンド→東

側道路周辺へと散策して、昆虫の観察と写真撮影を行った。昼食後、プロジェクタで子どもたちが撮影した昆虫写真を、スライドショーで順次表示して新開さんが個別評論と総評をした。後日に、参加者各自のお気に入りの写真は、事務局より郵送した。

- ・準備：（10月17日）撮影した写真をみるために部屋に椅子とプロジェクタ等のセッティング
教室他の清掃
講師の新開さんと一緒に下見（昆虫写真撮影）

② 竹とドングリを活用した自然体験交流（森であそぼう）

- ・実施日：11月29日
- ・実施場所：森の学舎
- ・参加者：27人（内子どもは16人）
- ・スタッフ：5人（指導者含む）
- ・後援：宮崎県、宮崎県教育委員会
- ・助成等：子どもゆめ基金
- ・内容：竹を玉きりにして節を利用したポットに、腐葉土を入れてドングリを植える。竹のポットは、参加者が自宅で苗木に育て2年後に山へ戻す。樹木が私たちの生活において排出された二酸化炭素を吸収し私たちの生活に必要な酸素を供給してくれていること理解した。
化石燃料を節約するために薪や炭を使い、飯盒で炊飯をして、ソーセージ生地を竹串に巻いて炙り焼きにした。屋外でのクッキングを通して自然の中に生まれていることを実感しました。他に、竹でマイ箸作りも体験した。
市販されている玩具でなく、木枝・葉・ドングリ等で工作をして、身近にある自然物で楽しく遊べることを実感する体験で、市販している玩具は、エネルギーを多く使って作られているが、自分で工夫するネイチャークラフトは、少ないエネルギーで作ることができ、そのことが地球環境への負荷を軽減できることも知ってもらった。

③ 野草を活用した自然体験交流（春を楽しもう）

- ・実施日：2021年3月21日
- ・参加者：子ども15人（内幼児2人）、大人10人
- ・スタッフ：7人（指導者含む）
- ・講師：成迫平五郎氏（宮崎県環境保全アドバイザー）
- ・後援：宮崎県、宮崎県教育委員会
- ・助成等：子どもゆめ基金
- ・内容：野草の観察と収穫、野草調理（餃子、天ぷら、白和え、おひたし、ピザ）
五感をつかって、自然と親しみ、自然の豊かさ・大切さを学ぶ活動で、野草観察で食べる分だけ摘んで調理した。自分の足元から春を感じ、自然環境を考えてもらった。
- ・準備：（2月7日）野草を収穫する休耕田草刈り後の草寄せ
（3月14日）下見、ピザ焼き窯の準備、試野草調理

（4）市民活動の活性化に関わる企画、コーディネート事業

12月20日に、「かどがわ演劇の広場」の劇団員が、森の学舎にてネイチャー工作と野外昼食を行った。ネイチャー工作は、横山純子理事によるワークショップで実施した。

「かどがわ演劇の広場」は、廃校になった西門川小学校松瀬分校をモチーフにした作品の発表公演（3月20日）するにあたり、演劇のイメージをつけるための演技者の森の学舎への訪問だった。

（5）活動の情報発信・啓発のための事業

① Webサイトとfacebookの運営

- ・実施時期：4月～2021年3月
- ・概要：子どもの森のすべての活動と自然環境啓発等を、月平均2.5回（年計32回）のWebページ更新にて情報発信した。Facebookへは、年間10回の投稿を行った。

② 機関紙の発行

発行できなかった。

③ 案内チラシの作成

- 5 ・実施時期：各プログラムの開催1カ月～3カ月前
- ・概要：宮崎県や宮崎県教育委員会等の後援をもらい、それぞれのプログラムの参加者募集チラシを作成した。主に県北の図書館や近隣のスーパー等においてもらった。また、Webページからもダウンロードできるようにした。他の参加者募集の方法として、facebookと地元新聞社（夕刊デیلیー、宮崎日々新聞）への掲載をお願いした。
- 10 四季をまるごと体験e c oスクールの参加者募集チラシは、延岡市・日向市・門川町の教育委員会から後援をもらい、県北一円の小学校の3年生から6年生に、延岡市・日向市・門川町の教育委員会を經由して約7500部を配布した。

(6) その他目的を達成するために必要な事業

15 ① みやざき森づくりボランティア協議会の総会

子どもの森が加盟して横山理事長が理事を務めている「みやざき森づくりボランティア協議会」の第19回通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止から、書面開催となった。

- 20 ② 黄色いレシートキャンペーン（7月11日）参加者：横山理事長、横山純子理事、石田理事、加納イオン日向店にて、キャンペーンの普及発展と子どもの森のPRをおこなった。今回でキャンペーンの参加が8回目となる。支援を続けてもらっている店舗への感謝と、お客様に黄色いレシートを子どもの森に投函してもらい、子どもの森の活動を地域に知ってもらうのが目的である。

レシート金額の1%相当額が、活動のために必要な消耗品などの商品がイオン・グループ店舗において寄贈される。子どもの森は、2006年から15年間で、約118万円を寄贈してもらっている。イオンの黄色いレシートで、子どもの森の応援をしてくださっている皆様に感謝する。

25

③ みやざき森づくりボランティア協議会主催の「草払機安全講習と実地研修」

（9月27日）参加者：横山理事長、横山純子理事、加納

研修場所：森の学舎（子どもの森）

- 30 講師の戸郷逸洋氏の草払機の安全な使用方法については、いろいろな事故の事例などを挙げられ、参加者も緊張した面持ちで研修に参加した。昼食後、午後には運動場にて草払機の実践を行い、効率よくしかも安全に草を刈っていく方法を学んだ。

④ みやざき森づくりボランティア協議会主催の「樹木観察会」

35 （11月1日）参加者：横山理事長、井澤理事、横山純子理事

研修場所：宮崎神宮の森（宮崎市）

県立博物館のある北側の森の観察を約2時間のコースで見回った。黒木先生の説明を聞きながら、途中途中の木の葉を採取して名前由来や見分け方を教えていただいた。主な樹種は、トベラ、ウバメガシ、サンゴジュ、ミミズバイ、アセビ、オオイタビ、ホウライチク、ムクノキ、ケンポナシなどがあつた。

40

⑤ 森の学舎の整備

1) 5月2日、4日～6日：参加者＝延べ19人

- 45 ・石窯の修理（3日間）
- ・グラウンドの草刈り
- ・麦畑の草刈りと麦間の草抜き（e c oスクールでの麦刈りの準備）
- ・3年前に台風で折れたセンダン大枝の薪割

2) 8月22日：参加者＝2人

・鹿威しの設置

50 3) 9月21日、22日：参加者＝6人

・倉庫整理と草刈り

4) 12月29日：参加者＝4人

・教室棟の大掃除

5) その他

5 ・凍結により破損した屋外水道の修理（業者依頼）

・（5/2、4～6他に）グラウンドの草刈り

・休耕田の草刈り（2回）

・イノシシ被害にあったビオトープの修繕

10 ⑥ 森の学舎の活用

1) 訪問者

年間に延べ13人の森の学舎への訪問者があり、横山純子理事が、訪問者に子どもの森と森の学舎の説明をおこなった。少ない訪問者ではあったが、子どもの森の理解を進めることができた。

2) 活用

15 ・9月20日：4名のキャンプ希望者にグラウンドを一般開放した。その際に、五右衛門風呂に利用をしてもらった。

・9月27日：みやざき森づくりボランティア協議会主催の「草払機安全講習と実地研修」で、子どもの森会員以外で7名の利用者があった。

20 3. 寄附金・助成金等

(1) 子どもゆめ基金（国立青少年教育振興機構）

① 四季をまるごと体験e c oスクール（第10期）の事業費411.0千円（ボランティア評価除く）に対して、参加費収入が79.2千円と347.0千円の助成を受ける予定です。

25 ② 「昆虫と友だちになろう」の事業費55.7千円（ボランティア評価除く）に対しての助成額と参加費収入の合計は、65.9千円でした。

③ 「森であそぼう」の事業費75.4千円（ボランティア評価除く）に対しての助成額と参加費収入の合計は、95.4千円でした。

30 ④ 「春を楽しもう」の事業費75.4千円（ボランティア評価除く）に対して、参加費収入が19.6千円と67.0千円の助成を受ける予定です。

(2) 森林づくり応援団活動支援（宮崎県森林環境税）

お地蔵さんの森の整備にあたり、機械のメンテナンスや消耗資材等購入の事業費234.2千円（ボランティア評価除く）に対しての助成額は、253.0千円でした。

35

(3) イオン黄色いレシートキャンペーン

黄色いレシートキャンペーンの投函箱を、マックスバリュース南延岡店/岡富店・イオン日向店に設置しています。投函されたレシート金額の1%が団体に商品券で寄贈されます。2020年度は、137.9千円の商品券が寄贈されました。

40

(4) ろうきんNPO寄附

預金者が応援したいNPO法人へ、希望する金額を希望する日に、預金者に代わって普通預金口座から寄附先団体の口座に自動振替する制度で、1回の寄附額は100円以上（100円単位）です。お二人の方から計7.2千円の寄附がありました。

45

(6) 他寄附

横山理事長の各プログラムでの人件費（90.0千円）と鶴戸理事から10.0千円が寄附されました。

4. その他

50

(1) 森づくりボランティア協議会

横山理事長が、当会の理事に就任しています。横山理事長の理事会参加は、5回の理事会開催で、5回出席しています。

5 (2) 認定NPOの取得

多額の費用が必要となる活動の資金調達を目的としての認定NPOの取得について、昨年度初めから県の生活・協働・男女参画課と書類のやりとりを進めながら、8月28日付けで認定NPOの取得が完了しました。認定有効期限は、令和7年8月27日までの5年間になります。

10 (3) 参加者の声

広く地域に参加者を募集して開催した環境プログラムの中で、「森であそぼう」と「春を楽しもう」に参加した方の感想を一部抜粋します。

① 森であそぼう

- 15
- ・子供と自分も楽しめてとても良かったです。ドングリの苗がとても楽しみです。
 - ・箸やドングリ工作が楽しかったです。シラカシの(苗)木が育つのが楽しみ。
 - ・自分で自由に材料を選び組み合わせるドングリ工作が一番楽しかったです。
 - ・とても楽しい体験をしました。また参加したいです。

20 ② 春を楽しもう

- ・子どもと触れ合いながら自然に触れることができ、時間を忘れる一日でした。またの機会に参加できたらと思います。
- ・次回も参加します。スタッフの皆さんへ「お世話になりました」
- ・また「春を楽しもう」に行きたいです。とても楽しかった。たくさんの山菜の名前や調理の仕方が解ってとてもよかったです。
- 25
- ・食べられる野草がこんなにも多いなんてびっくりしました。野草が身近に感じました。先生に丁寧に教えてもらい、野草の違いがわかりました。
 - ・意外な発見をしたりして楽しかったです。機会があったら自分でも野草の収穫をしてみたいと思いました。
- 30
- ・普段は雑草としか見ていなかったのに、こんなにもたくさんの種類の食べ物が生えてるなんて、とても驚きました。
 - ・思っていたより、多くの野草があったことに驚きました。名前を全部は覚えられなかったけど、次に出あった時には、思い出して楽しめそうです。
 - ・お店で購入するもの以外にも、自然に育っているものも食べれる事を子どもたちは教えてもらえる経験させてもらったのはありがたいと思いました。
- 35



森であそぼう



春を楽しもう

2020年度事業経過一覧

	実施日	活動名	内容/備考
4月	12(土)	会計監査	
	13(月)	理事会	
	26(日)	総会	
5月	2(祝), 4, 5, 6	森の学舎整備	石窯の修理, グランドの草刈り, 薪割り, ecoスクール麦畑の整備
	11(月)	理事会	
	16(土)	①ecoスクール※中止	スタッフでの麦刈り
	24(日)	「ecoスクール」準備	②の準備
	30(土)	②ecoスクール	麦の脱穀
6月	7(日)	①お地蔵さんの森	草刈り, 放置木枝のかたづけ
	27, 28(日)	「ecoスクール」準備	③の準備
7月	5(日)	②お地蔵さんの森	沢への昇降予定地の草刈りと小樹木伐採
	11(土)	黄色いシートキャンペーン	休日向店
	18(土)	③ecoスクール	イカダ作り
	26(日)	「ecoスクール」準備	④の準備
8月	1(土)	④ecoスクール	河川ゴミ拾いと川の生き物調査
	3(月)	理事会	
	22(土)	森の学舎整備	鹿威し設置
	23(日)	「ecoスクール」準備	⑤の準備
9月	12(土)	⑤ecoスクール	環境学習
	20(日)	③お地蔵さんの森	沢への昇降階段設置
	21(祝)、22	森の学舎整備	学舎の倉庫整理、草刈り
10月	4(日)	④お地蔵さんの森	沢への昇降階段設置
	15(木)	「ecoスクール」準備	海水汲み
	17(土)	「昆虫と友だちになろう」準備	昆虫の下見
	18(日)	昆虫と友だちになろう	昆虫撮影
	24(土)	⑤お地蔵さんの森	沢への昇降階段設置
	24(土)PM	理事会	
	31(土)	「ecoスクール」準備	⑥の準備
11月	14(土)	⑥ecoスクール	麦畑(麦播き)
	23(祝)	「森とあそぼう」準備	ドングリ苗床のポット制作など
	29(日)	森とあそぼう	エコクッキング, ドングリ苗床, ネイチャー工作
12月	12(土)	⑦ecoスクール	酵母とドングリ工作
	20(日)	⑥お地蔵さんの森	廃道整備
	29(火)	森の学舎ピカピカ大作戦	森の学舎の大掃除
1月	17(日)	「ecoスクール」準備	⑧の準備
	23(土)	⑧ecoスクール	塩作りと小麦挽き
2月	7(日)	⑦お地蔵さんの森	樹木名プレート設置
	13(土)	⑨ecoスクール	パン作り, 閉校
	22(日)	チャレンジスクール	横山理事の活動紹介
	23(祝)AM	竹林整備	妖精の森の竹伐採
	23(祝)PM	理事会	
3月	14(日)	「春をたのしもう」準備	山菜・野草の下見
	21(日)	春をたのしもう	山菜・野草観察の観察と調理

※事務局(のみ)活動は一覧には未掲載

報告事項Ⅱ. 2020年度活動決算報告

2020年度 特定非営利活動に係る活動計算書
(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

科目	金額		備考
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	68,000		13人×5,000、特別:3人×1,000
賛助会員受取会費	11,000	79,000	2人×5,000、特別:1人×1,000
2. 受取寄附金			
受取寄附金	246,156		イオ黄色いシート、ろうきんNPO寄附金、横山理事長、鶴戸理事 他
ボランティア受入評価益	575,212	821,368	宮崎県の最低賃金にて評価
3. 受取助成金等			
受取助成金		798,427	子どもゆめ基金、森林づくり応援団活動支援 他
4. 事業収益			
自主事業収益		148,600	各プログラム参加費 他
5. その他収益			
雑収入		12	預金利息
経常収益計			1,847,407
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
賃金(給料手当・臨時雇賃金)	248,800		各プログラム、お地蔵さんの森
ボランティア評価費用	575,212		宮崎県の最低賃金にて評価
人件費計	824,012		
(2)その他経費			
修繕費	102,300		機材の点検修理
諸謝金	126,000		各プログラム講師 他
印刷製本費	32,010		ecoスクールチラシ印刷(業者)
旅費交通費	101,046		各プログラム、他事業すべて
通信運搬費	5,310		同上
消耗品費	302,830		同上
損害保険料	19,489		各プログラム
その他経費計	688,985		
事業費計		1,512,997	
2. 管理費			
(1)人件費			
賃金(給料手当・臨時雇賃金)	0		
人件費計	0		
(2)その他経費			
Web運営費	3,861		ドメイン、レンタルサーバー
旅費交通費	0		
通信運搬費	30,198		助成金申請・報告、事務局電話料、森の学舎携帯
消耗品費	38,876		座版(住所等ゴム印)、ホームペーカリー、掃除機、シェード
諸会費	0		
会議費	2,943		総会食材
研修費	2,450		樹木観察会(宮崎神宮)
租税公課	2,070		印紙、印鑑証明、住民票
施設管理費	167,072		森の学舎(土地賃借料、浄化槽管理費、電気代)
雑費	0		
減価償却費	2,531		チャパーシュレッダー1台
その他経費計	250,001		
管理費計		250,001	
経常費用計			1,762,998
当期正味財産増減額			84,409
前期繰越正味財産額			1,549,270
次期繰越正味財産額			1,633,679

各プログラム:「四季をまるごと体験ecoスクール(ecoスクール)」「昆虫と友だちになろう」「森であそぼう」「春を楽しもう」

ボランティア受入評価益とボランティア評価費用は、宮崎県の最低賃金にて計上している。

管理費のボランティア受入評価益とボランティア評価費用は、計上していない。

2020年度 事業別活動計算書

科 目	ecoスクール	昆虫と友だちになろう	森であそぼう	春を楽しもう	お地蔵さんの森	森の学会整備(ピオトープと竹林整備を含む)	その他	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益										
1. 受取会費										
正会員受取会費	--	--	--	--	--	--	--	--	68,000	68,000
賛助会員受取会費	--	--	--	--	--	--	--	--	11,000	11,000
2. 受取寄附金										
受取寄附金	--	--	--	--	--	--	--	--	246,156	246,156
ボランティア受入評価益	186,247	21,412	24,187	36,479	53,063	221,394	32,430	575,212	160,054	735,266
3. 受取助成金等										
受取助成金	347,000	60,989	76,659	67,000	233,000	--	13,779	798,427	--	798,427
4. 事業収益										
自主事業収益	79,200	5,000	18,800	19,600	--	--	20,000	142,600	6,000	148,600
5. その他収益										
雑収入	--	--	--	--	--	--	--	--	12	12
経常収益計	612,447	87,401	119,646	123,079	286,063	221,394	66,209	1,516,239	491,222	2,007,461
II 経常費用										
(1)人件費										
賃金	182,000	9,000	39,000	18,800	--	--	--	248,800	--	248,800
ボランティア評価費用	186,247	21,412	24,187	36,479	53,063	221,394	32,430	575,212	160,054	735,266
人件費計	368,247	30,412	63,187	55,279	53,063	221,394	32,430	824,012	160,054	984,066
(2)その他経費										
修繕費	--	--	--	--	66,000	36,300	--	102,300	--	102,300
諸謝金	15,000	23,000	0	5,000	83,000	--	--	126,000	--	126,000
印刷製本費	30,910	1,100	0	0	--	--	--	32,010	--	32,010
Web運営費	--	--	--	--	--	--	--	--	3,861	3,861
旅費交通費	65,650	18,050	7,250	6,050	4,046	--	--	101,046	0	101,046
通信運搬費	3,150	1,420	370	370	0	--	--	5,310	30,198	35,508
消耗品費	103,019	2,599	30,468	35,880	81,070	34,638	15,156	302,830	38,876	341,706
諸会費	--	--	--	--	--	--	--	--	0	0
会議費	--	--	--	--	--	--	--	--	2,943	2,943
研修費	--	--	--	--	--	--	--	--	2,450	2,450
損害保険料	15,489	1,000	1,500	1,500	--	--	--	19,489	0	19,489
租税公課	--	--	--	--	--	--	--	--	2,070	2,070
施設管理費	--	--	--	--	--	--	--	--	167,072	167,072
雑費	--	--	--	--	--	--	--	--	0	0
減価償却費	--	--	--	--	--	--	--	--	2,531	2,531
その他経費計	233,218	47,169	39,588	48,800	234,116	70,938	15,156	688,985	250,001	938,986
経常費用計	601,465	77,581	102,775	104,079	287,179	292,332	47,586	1,512,997	410,055	1,923,052
当期経常増減額	10,982	9,820	16,871	19,000	△ 1,116	△ 70,938	18,623	3,242	81,167	84,409

※ボランティア受入評価益とボランティア評価費用は、宮崎県の最低賃金にて計上している。



お地蔵さんの森（沢への昇降道整備）



妖精の森（竹の除去）

《参考》

2020年度 特定非営利活動に係る活動計画書
(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

科目	金額		備考
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	63,000		+612人×5,000、特別会員:3人×1,000
賛助会員受取会費	11,000	74,000	+2人×5,000、特別会員:1人×1,000
2. 受取寄附金			
受取寄附金	124,000		イオン黄色いシート、ろうきんNPO寄附金、個人寄附 他
ボランティア受入評価益	--	124,000	
3. 受取助成金等			
受取助成金		916,000	子どもゆめ基金、 森林づくり活動
4. 事業収益			
自主事業収益		147,000	各プログラム参加費、森の学舎使用料
5. その他収益			
雑収入		10	預金利息 他
経常収益計			1,261,010
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
賃金	271,000		各プログラム
ボランティア評価費用	--		
人件費計	271,000		
(2)その他経費			
諸謝金	93,560		各プログラム
印刷製本費	39,010		ecoスクールチラシ印刷(業者)
Webページ運営費	15,000		森林と水辺の体験型環境学習の森づくり活動
旅費交通費	188,300		各プログラム 他事業すべて
通信運搬費	5,930		同上
消耗品費	461,050		同上
損害保険料	31,240		各プログラム
その他経費計	834,090		
事業費計		1,105,090	
2. 管理費			
(1)人件費			
賃金	0		
ボランティア評価費用	--		
人件費計	0		
(2)その他経費			
修繕費	0		プリンター保守料 他
旅費交通費	8,000		森づくりボランティア協議会の総会出席 他
通信運搬費	45,000		助成金申請・報告、事務局電話料、森の学舎携帯
消耗品費	17,000		文房具、お茶代 他
諸会費	3,000		みやざき森づくりボランティア協議会
会議費	4,000		総会
研修費	10,000		各種研修、会員プログラム参加への充当
租税公課	200		印紙、印鑑証明 他
施設管理費	160,000		森の学舎(土地賃借料、浄化槽管理費、電気代) 他
雑費	1,000		
減価償却費	2,530		チッパーシュレッダー1台
その他経費計	250,730		
管理費計		250,730	
経常費用計			1,355,820
当期正味財産増減額			△ 94,810
前期繰越正味財産額			1,549,270
次期繰越正味財産額			1,454,460
			森の学舎修繕費目的積立¥1,000,000含む

各プログラムとは下記の5プログラム

「四季をまるごと体験ecoスクール」「昆虫と友だちになろう」「森であそぼう」「春を楽しもう」「森林と水辺の体験型環境学習の森づくり活動」

特定非営利活動に係る貸借対照表（2021年3月31日現在）

特定非営利活動法人 子どもの森

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	76,811		
普通預金	1,128,993		
未収金	414,000		
前払金	14,242		
流動資産合計		1,634,046	
2 固定資産			
備品	2,085,000		
減価償却累計額	△2,084,997	3	
固定資産合計			3
資産合計			1,634,049
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金		370	
流動負債合計			370
負債合計			370
III 正味財産の部			
基本金	1,549,270		
当期正味財産増加額（減少額）	84,409		
正味財産合計			1,633,679
負債及び正味財産合計			1,634,049

2020年度 特定非営利活動に係る財産目録
（2021年3月31日現在）

特定非営利活動法人 子どもの森

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	現金手元有高	76,811	
普通預金	宮崎太陽銀行門川支店	1,097,712	
普通預金	九州ろうきん延岡支店	21,281	
普通預金	ゆうちょ	15,000	
未収金	子どもゆめ基金	414,000	
前払金	事務局電話代（金子幸一）	14,242	
流動資産合計			1,639,046
2 固定資産			
機械及び装置	ツバ-シュレッダ-（新ダ'イCSE50-W）	253,050	
	ツバ-シュレッダ-（大橋GS121GB）	1,330,350	
	耕うん機（HONDAレ'アタ）	102,600	
	簡易炭窯（テサT105型）	399,000	
減価償却累計額		△2,084,997	3
固定資産合計			3
資産合計			1,639,049
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金		370	
流動負債合計			370
負債合計			370
正味財産（注）			1,638,679

（注）正味財産は「資本合計」より「負債合計」を減じた金額を記載する。
これが登記すべき「資産の総額」である。

上記財産目録に相違ない。

特定非営利活動法人 子どもの森

監査

佐藤 伸光



※未収金：子どもゆめ基金（四季をまるごと体験ecoスクール、春を楽しもう）

5 ※未払金：春を楽しもう完了報告郵送料

報告事項Ⅲ. 監査報告

監査報告書

2020年4月1日から2021年3月31日までの理事の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下の通り報告します。

監査の結果

- この法人の会計の方法及びその結果は、相当であると認めます。
- 財産目録は、この法人の財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項はありません。
- 貸借対照表は、この法人の財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項はありません。
- 活動計算書は、法令及び定款に従い、この法人の状況を正しく示していると認めます。

2021年4月 // 日

特定非営利活動法人 子どもの森

監事 佐藤 伸光 



森の学舎整備（パン窯修理、屋外水道修理）

議案 I. 2021年度活動方針(案)

1. 農林漁業などの産業体験や里山等の自然体験交流事業

5 (1) 子どもと保護者の環境教室(四季をまるごと体験e c oスクール)

地域の小学生及び保護者に対して、パン作りによる食と環境を切り口に、同一の参加者が、年間(四季)を通して、四季折々の自然環境を遊びや観察等から学び、麦栽培等の農業体験、そして農業体験を通して自分たちで作った食材料からパン作りを経験します。輸入に頼らなくても食が可能であることを実感し、食べ残しを極力少なくすることや食品の輸入による過大なエネルギーを減少させることで、地球環境への負荷を少なくした生活を実践してもらうための気づきを促します。他に、自然環境を遊びや観察等の原体験を通して、中山間地域である里山の自然環境の大切さと保全の必要性を学習するプログラムを提供します。

5/15	開校式	・学校名や学年、活動に参加した目的などの自己紹介。 ・初対面である参加者同士が早く仲良くなるためのネイチャーゲーム実施。
	麦刈り	・前年度に種まきをして育った麦の刈りとり。
	麦はさ掛け	・刈りとった麦のはさ掛け。
5/29	麦畑用堆肥づくり(ダンボールコンポスト)	・11/20におこなう麦畑作りで使用する堆肥作り。(ダンボールにピートモス等の基材を入れ、ゴミの減量化と堆肥としての食べ物の循環、家庭での堆肥の作り方管理を学ぶ。)
	脱穀	・5/15に刈りとった麦を足踏む式脱穀機で脱穀。
	風選	・脱穀した麦のもみ擦り唐箕を使って脱ふん。
7/24	河川清掃	・森の学舎の前を流れている五十鈴川支流の松瀬川で、川岸のゴミ拾いを行う。
	水生動物観察	・多くの種の命の大切さを学び、豊かな自然環境が、動植物の食物連鎖や生態系に必要なものであることを学ぶため、魚等の水生動物の観察を行う。
8/28	環境学習「樹木のCO ₂ 吸収量を調べる」	・どれ位の二酸化炭素を吸収してくれるのだろうか！人間の生活で排出する二酸化炭素を吸収するのに何本の樹木が必要になるだろうか！樹木の大切さを知るために、樹木の二酸化炭素吸収量の計算をする。 ・自宅の電気使用量で、どれだけの二酸化炭素を排出しているかを計算する。
	ソーラーッキング	・太陽光を集めると、高温になること(目玉焼きで実験)を知り、CO ₂ の発生が0%であることに気づく。(CO ₂ の発生は、地球の温暖化防止には、重要なことを講話し、省エネの生活をするように意識させる。)
11/20	麦播き準備	・畑の草取りをおこなう。
	麦蒔き	・麦種を蒔き土を被せる。
12/11	イチゴ酵母作り	・食品瓶に、パンで必要となる酵母を仕込む。(食品瓶は自宅に持ち帰り自宅で酵母を育てる)
	麦踏み	・11/20で蒔いた麦芽が強い麦に育つための麦踏を行う。
	ネイチャー工作	・小枝や葉っぱ、ドングリ等の自然素材で、オリジナルなクラフト作品を作る。(自然にある物で十分に遊ぶことができることで自然への愛着心を育む)
2022 1/22	塩作り	・海水を簡易釜戸で沸かして水分を蒸発させ塩を採取。 ・塩づくりの副産物であるにがりも採取。 ・採取した塩をフライパンで炒めて乾燥。
	小麦粉作り	・5/29で脱穀した麦を石臼で挽いて小麦粉作り。
	掃除	・石臼での麦挽きで汚れた室内と石臼の掃除。
2/12	バター作り	・パン生地に練りこむバターを、生クリームと牛乳で作る。
	パン作り	・作った塩と挽いた小麦粉と作ったバターでパン生地作り。 ・1次発酵を済ませて、想いおもいの形にパン形成。 ・焼いたパンを試食。
	感想文	・パン焼きの順番まで、感想文書き。
	閉校式	・修了証の授与。

- 15
- ・参加数：23人(県北地域の小学生3年生から6年生15人と保護者8人)
 - ・場所：森の学舎
 - ・助成：子どもゆめ基金
 - ・外部講師：山下みよ子氏(ダンボールコンポスト) ※宮崎県ダンボールネットコンポストネットワーク協会

(2) 休耕田復活プロジェクト

耕作放棄地を復活させて里山の自然景観を守り、そして、大切なものがたくさんあって存在する魅力や価値を後世に繋いでいきたい、松瀬地区の休耕田を復活させ無農薬で無機械による米作り体験の場とします。

春を楽しもう（地域の自然環境などを理解してもらうための啓発活動）では、森の学舎近くの休耕田でレンゲやセリ、ヤブカンゾウ等の野草を収穫しています。この休耕田に、セイタカワダチソウが増殖しはじめたため、一昨年（2019年）度から年2回の草刈りを実施していました。

この田んぼを復活させ無農薬で無機械による米作り体験の場として、地元農家の方（新田さん）と一緒に活動を進めて行くことになりました。一般参加者を募って、田植え（もち米）、年3回の草取り、稲刈り、脱穀、そして餅つきをして食べるまでの節目の作業を体験実施して行きます。

田起しや田植え後の日常の田んぼ管理は地元農家の方が、請け負ってくれることになっていますが、田起こし前に、田んぼの草刈りや、田んぼの周りの竹伐採は、子どもの森で実施する予定です。田起し直後に、地元農家の方の指導で畔作りも実施します。

以下のような計画をしています。餅つきの時は、ミニ門松制作のネイチャーワークも同時実施を考えています。

- 1) 5月（GW）：スタッフで田んぼの草刈りと畔作り
- 2) 6/6：田植え
- 3) 6/27・7/11・7/25：草取り
- 4) 10/10：稲刈り
- 5) 10/17：脱穀
- 6) 12/19：餅つき

「門川町がんばる地域応援事業」の活動としての申請をします。協働してくれる地元農家の方への指導料支払いと必要な道具（臼や杵、石臼）の購入をしたいと思います。

稲刈り後の田んぼ保全のため、田んぼをレンゲ畑とする。レンゲを使っでの活動を理事会で検討したいと思います。

2. 中山間地の荒廃した里山の環境保全再生事業

(1) 妖精の森

2009年から続けている森の学舎裏の放置されている竹林の一部を落葉樹の林に変えて行く活動は、地権者と正式に山林使用協定を結べない事情があるので、他活動で必要となる竹の伐採にとどめます。また、新たに生えてくる竹の除去は続けて行きます。

(2) お地蔵さんの森（森林と水辺の体験型環境学習の森づくり活動）

手入れが行われず放置されている里山と、その里山と隣接している五十鈴川支流のオモボリ谷と菅の谷の合流する沢（松瀬川と称す）を子供たちが入り遊ぶことができる森林づくりを一昨年（2019年）度から実施しています。

整備した里山と松瀬川、そして森の学舎を一体的に活用し、子どもやその保護者を対象とした森林の動植物にやさしい自然環境と水源かん養や災害の防止など森林の公益的機能を知るための体験型環境学習を実施するためのフィールドを作ります。

- ① 放置されている里山の平坦な部分の樹木伐採や枝打ち等を行い里山に登る歩道を整備して体験型環境学習の広場作りをする。
- ② 里山に自生している樹木に樹木名プレートを設置する。
- ③ 里山から松瀬川に下るために樹木伐採や枝打ち等を行い歩道を作る。
- ④ 必要に応じて、五感で四季を楽しめる広葉樹を補植する。

本年（2021年）度は、上記①と②、③の活動を行い、④については次年（2022年）度以降の活動とします。会員のほか、ボランティアや地区の住民、企業等に呼びかけを行い、上下流の協働による森林づくりを行い、相互交流、連携の強化を図ります。伐採した樹木の一部は、薪としても活用します。7月～2月の期間に、5回程度実施します。

5

3. 地域の自然環境などを理解してもらうための啓発活動

(1) 川を活用した自然体験交流（川をたのしく親しもう）

10 ネイチャーゲームで、自然をさまざまな感覚や心を通じて理解し自然と自分が一体である、川あそびをとおして自然の豊かさを楽しみ自然や里山等の大切さを、体験を通して学びます。お楽しみとして、竹レールでの流しそうめんをお昼ご飯とします。

15 ① ネイチャーゲーム・川あそび：川をたのしみ親しむために、ネイチャーゲームを川で実施し、川の自然と人間生活が密接に関係していることを学習する。川の音を心で感じ取るネイチャーゲームを実施する。参加者を3グループに分けて、それぞれのグループに指導者がつく。各グループが、異なる川あそび（笹舟流し・川を覗く・川虫を探すを予定）を時間単位でローテーションしながら体験する。

20 ② 川の生きもの探し：石に付いている川虫を網ですくい、箱メガネを使ってエビや魚を網で捕ったりする。岸辺に川の生き物のパネルを用意して、すくった川虫や捕ったエビや魚の名前を確認する。この体験を通して自然の豊かさや大切さを実感してもらう。このプログラムでは、ライフジャケット着用とスタッフの安全確保が必要となる。

25 ③ アメンボウの旅：アメンボウのように手足を大きく広げ、川の上流から下流へ流れる。この体験を通して、川（水）の楽しさと親しみをもってもらう。このプログラムでも、ライフジャケット着用とスタッフの安全確保が必要となる。

④ そうめんランチ：川での活動が終わり着替えをして、素麺とかき揚げで昼食とする。例年では、流し素麺を実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、一人一人の食材を取り分けできるランチ形式とします。

・開催月：8/1（日）

30 ・参加数：子ども15人、保護者10人（子どもが過半数を超えること）

・場所：森の学舎と五十鈴川

・助成：子どもゆめ基金

・雨天時：川で予定していたプログラムを一部変更して室内中心で実施する。

35 雨天時のプログラムは、理事会で検討していきます。

(2) 昆虫を活用した環境学習（昆虫の写真をとろう）

40 身近な昆虫や植物について興味・関心をもって追究する活動を写真撮影と昆虫説明を通して、昆虫の成長過程と体のつくりを理解し、生物を愛護する態度を育て、昆虫の成長のきまりや体のつくりについての見方や考え方もつてすることができます。活動を通して、自然を愛する心や環境保全への関心を高めることにつなげることが期待できます。

45 ① 昆虫撮影：森の学舎グラウンドで、昆虫を観察（昆虫の生態や名前の由来の説明）をして、参加者が持参したデジタルカメラ等で昆虫写真を撮る。昆虫の写真を撮る際には、写真写りの良い構図を考えるはずであり、そのことがしっかりと昆虫を観察することにつながる。

② お気に入りの一枚：参加者の撮った昆虫の写真の中で一番気に入った写真を決める。後日に、簡易なフォトフレームに収めて参加者に発送する。また、撮影した写真については、プロジェクトで投影して指導者が個別評論と総評をおこなう。

③ パネル展：新開孝さんの昆虫写真を展示する。

50

- ・開催月日：9/12（日）
 - ・参加数：子ども15人（保護者は付き添い参加とする）
 - ・場所：森の学舎
 - ・助成：子どもゆめ基金
- 5
- ・外部講師：新開孝氏※昆虫写真家

（3）森林を活用した環境学習（森であそぼう）

10 樹木は、私たちの生活において排出された二酸化炭素を吸収し、私たちの生活に必要な酸素を供給してくれていること、子どもたちの健全育成に必要な資源を提供していることの学習、ドングリ苗木の育て方、ドングリを使った工作を通して、自然の豊かさを楽しみ自然の大切さを学びます。また、森林が水を含む良質な環境の源であることを理解し、山に植樹するための苗木を自宅でドングリから育てます。参加者が育てたドングリの苗木は、数年後に地域の山への植樹へと発展させるプログラムです。

- 15 ①炙り焼きソーセージ：昼食のお楽しみとして、炙り焼きするソーセージを参加者で作る。炙り焼きソーセージの待ち時間を利用して、竹箸作りをおこなう。
- ②ドングリクイズ・ドングリポット：竹を玉きりにして節を利用したポットに、腐葉土を入れてドングリを植える。竹のポットは、参加者が自宅で苗木に育て山へ戻す。
- 20 ③ドングリ工作：小枝や葉っぱ、ドングリ等の自然素材で、参加者がオリジナルのクラフト作品を作る。自然にある物で十分に遊ぶことができることで、自然への愛着を促す。

- ・開催月日：12/15（日）
 - ・参加数：子ども15人、保護者10人（子どもが過半数を超えること）
 - ・場所：森の学舎
 - ・助成：子どもゆめ基金
- 25

（4）春の野草を活用した里山体験（春を楽しもう）

30 春になって野草の芽吹きに触れることで自然に対して興味・関心を高め、野草の名前を覚え食することで自然の恵みが身近なところにあることを確認します。この活動を通して自然環境を大切に思い守る意識と認識してもらいます。

- 35 ①野草観察：指導者やスタッフと一緒に森の学舎と周辺を散策し、生息する野草などの説明を受ける。野草の名前や特徴を覚えることで、地域の身近な自然に対する興味・関心を高める。スタッフと参加者で知識を共有するだけでなく、観察中に話しかけながら交流を図り、屋外での活動となるため指導者の説明が十分に伝わるよう配慮します。
- ②参加者で昼食作り：食べることができる野草を食べる分だけ摘んで調理する。野草を食べることで自然の恵みへの感謝の気持ちを認識する。調理それぞれに、スタッフを配置しスムーズな調理の流れに配慮します。

- ・開催月：2022/3/21（祝月）
 - ・参加数：子ども15人、保護者10人（子どもが過半数を超えること）
 - ・場所：森の学舎
 - ・助成：子どもゆめ基金
 - ・外部講師：成迫平五郎氏（野草観察）
- 40
- 45

参加者の五感を使った活動とするために、受身の受講とせず、スタッフと一緒に調理をして交流を図り、印象を強く残すように配慮します。

4. 地場産業の振興、街づくり、人づくり

50 昨年8月27日に、認定NPO法人に承認されました。認定NPO法人に寄付をすると、寄付額

が所得税の寄附金控除になりますので、寄付を集めやすい環境が整いました。地域のサードプレイス（環境学習の教室、日常的に大人や子どもが集まる処、防災時の補助的な避難所、地域の農産物市場販売所など多様な利用方法があると思われます）として、美郷町北郷黒木にある築114年の古民家を再生し活用するための費用を調達するために、認定NPO法人の申請をしました。

5 この古民家は、柱や床などがシロアリ被害によって、家全体が歪んでいるので業者による躯体修復作業を施して、その後ワークショップで床や壁などの修復を進めていきます。また、前住人が不要な荷物や家具をそのままに放置しています。まずは、その荷物や家具の片づけを進め、業者による躯体改修作業ができる状態になったら、クラウドファンディングにて資金調達をしていきます。

10 ※サードプレイスとは、仕事に関わる「職場」やプライベートな「家庭」とは異なる3つ目の居場所を指す言葉です。ただし、それは単に居場所があればサードプレイスになるわけではありません。インフォーマルな公共の空間で、上下関係のない人々が自由に会話を交わすことができるという環境は、人々に自尊心を取り戻させたり精神的なゆとりを与えたりするのです。サードプレイスの代表例としては、ドイツの居酒屋やイタリアの食堂などであり、人々のコミュニケーション欲を満たす場所として機能しています。コミュニティーのような義務や権利が存在しないのもサードプレイスの特徴です。

5. 市民活動の活性化に関わる企画、コーディネート事業

20 地域の課題に対して何かの役に立ちたいと思い、地域活動に参画する意向のある人は増えてきています。そうした動きに対して行政も、地域の活性化、雇用の確保、行政サービスの補完等の観点で関心を持っています。しかし、意欲のある人や団体でも、具体的な始め方、仲間や協力者の見つけ方、必要な知識やスキルの身に付け方等、いくつかのハードルの存在が想定されます。従って、それらを克服し、参加意欲を実際の行動に結び付けていけるような支援の仕組みを地域に構築することの必要性があります。市民活動の活性化に関わる企画やコーディネート等、何らか携わることができればと考えています。

6. 活動の情報発信・啓発のための事業

30 活動を告知することで活動の参加者を募集し、活動の内容を情報発信することで子どもの森の活動への理解を通して、自然環境の大切さ、地域を良くするための協働への参画を促していきます。

(1) Webサイトの運営

子どもの森のすべての活動と自然環境啓発等を、Webページにて発信していきます。また、Webページでは発信しづらい細かい情報は、facebookで発信していきます。

(2) 機関紙の発行

35 子どもの森の前年度活動と自然環境啓発等を、機関紙「子どもの森通信18号」を発行することで情報発信をします。

(3) 事業案内チラシの作成

40 宮崎県や関係行政機関等の後援を依頼して、それぞれの事業を開催する3ヶ月前までに、新聞社へ参加者募集の記事依頼と、図書館や公民館等の公共機関へのチラシ配布を行います。

7. その他目的を達成するために必要な事業

(1) ビオトープ

45 ビオトープは、ミニ田んぼ・水路・池とつながった一連の水辺環境で、森の学舎隣の地区集会場にある水タンクからオーバーフローしている水をホースで引いています（地区の集会場の水タンクには、谷沢の水をホースで注いでいる）。ビオトープの活用にあたり必要な改修改善を行なっていきます。水辺に生息する草や水生生物は、人工的に持ってこず自然の復元力に委ねます。

50 四季をまるごと体験e c oスクールで、水辺のいきもの観察や麦作りを行い自然環境の観察等

を行います。

ビオトープの様子は、Web ページや Facebook、機関誌で紹介していきます。

(2) 活動拠点「森の学舎」の活用と整備

5 2006年11月に、公募により門川町から譲与を受けた旧西門川小学校松瀬分校は、2008年度に、日本財団と連合愛のキャンパからの助成金を受け、会員その他ボランティアによって修繕を進めてきました。また、ボーイスカウト等の団体を含めた一般開放、森林や環境等の図書や児童書・絵本を整備して環境文庫の設置などの整備を行なってきました。そして、2009年度は、セブン-イレブンみどりの基金と門川町まちづくりプレイヤー支援、連合愛のキャンパからの助成を受け、五右衛門風呂小屋と釜戸小屋の製作と、薪ストーブの設置、環境関連図書の購入を進めてきました。

10 行政が絡んでいない民間団体での廃校活用は他に例がなく、森の学舎は廃校になった学校の先駆的な活用例として注目されています。森の学舎と周辺地域との関係も視野に入れ、環境問題を切り口とした地域コミュニティとしての役割など、廃校の更なる活用も目指していかなくてはなりません。

15 2010年度で、急ぎ必要な森の学舎の整備は終わったと思われます。これからは、どのような整備が必要かを検討しながらの整備を進めていきます。そのための資金として、特別積立金の設定をしています。森の学舎の開放と森の学舎で行なう環境学習の依頼があれば受入をしていきます。初夏と秋にグラウンドと周辺の草刈りを実施します。他に、破損した設備等があれば修繕などを行います。

(3) 子どもの森が加盟する団体

25 今年(2021年)度も引き続き「みやざき森づくりボランティア協議会」に、団体会員として加盟します。同協議会での総会や研修会への参加をすることで、同じ森づくりや環境問題に取り組んでいる団体との交流ができます。また、同協議会が開催する研修会では、森づくり活動への考え方や森林作業の学習等を学べます。宮崎県内の森づくりを実施している団体の相互協力と交流、森づくりの研修が、本協議会の活動の中心となっています。可能な限り協議会が開催する総会や研修会への参加や協力を行っていきます。

30 昨年(2020年)度、新型コロナウイルス感染拡大防止で、森の学舎で予定していた総会を開催できませんでした。今年度の総会は、森の学舎で開催する予定です。総会開催にあたり会員のご協力をよろしくお願いいたします。

8. 助成について

今年度の活動への助成金は下表のとおりです。

助成名	助成元	助成事業	助成額
子どもゆめ基金	国立青少年教育振興機構	四季をまるごと体験e c o スクール	575千円(申請) (確定)491千円
		川をたのしく親しもう	130千円(申請) (確定)106千円
		昆虫の写真をとろう	62千円(申請) (確定)73千円
		森であそぼう	76千円(申請) (確定)73千円
		春を楽しもう	67千円(申請) (確定)66千円
森林づくり活動	宮崎県森林環境税	森林と水辺の体験型環境学習の森づくり活動	300千円(申請中)
門川町がんばる地域応援事業	門川町	休耕田復活プロジェクト	155千円(申請予定)

黄色いレシートキャンペーンは、同一経営店舗に1店舗のみの登録となったため、「イオン日向店」と「マックスバリュース南延岡店」に登録します。また、7/11（日）にイオン日向店においてのキャンペーン協力に参加したいと思います。

5

9. 次年（2022年）度以降の活動

これまでのプログラム（自然体験活動）を継続実施することとしますが、川をフィールドとする活動は7月末から8月になります。川をフィールドにする活動が複数あると台風による川の増水や雨による延期に対応できないため、次年度以降も一つに絞ります。今年度は、四季をまるごと体験 eco スクールのイカダで河川清掃を外し、「川をたのしく親しもう」を開催します。次年（2022年）度は、四季をまるごと体験 eco スクールのイカダで河川清掃を行い、「川をたのしく親しもう」を未開催とします。

10

森づくりについてですが、次年（2022年）度「お地蔵さんの森」は、樹木伐採や沢への昇降道の整備が今年度に終了するので、自然体験活動でのフィールドとしての活動とメンテナンス的整備を実施して行きます。「妖精の森」は、生えてくる竹の伐採を実施し、「子どもの森1号地」と「GOCANの森」は、経過観察をして行きます。

15

他に、将来の自然体験活動として、ネイチャー工作の一環となるコケ玉・樹木カレンダー・門松づくり、つる工作等の特色ある計画を練って行きます。

古民家再生は、今年度には、業者による家屋修復は実施できると思いますが、ワークショップによる室内再生まで行うのは難しいと思われるので、次年度も引き続きおこなうことになると思います。古民家再生の予算案については、業者による見積りが終わり、クラウドファンディングをスタートする時点で、計画を立案して会員に提示します。

20



四季をまるごと体験 eco スクール

議案Ⅱ. 2021年度活動計画書(案)

2021年度 特定非営利活動に係る活動計画書
(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

科目	金額		備考
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	68,000		13人×5,000、特別会員:3人×1,000
賛助会員受取会費	11,000	79,000	2人×5,000、特別会員:1人×1,000
2. 受取寄附金			
受取寄附金	200,000		イオン黄色いシート、ろうきんNPO寄附金、個人寄附 他
ボランティア受入評価益	--	200,000	
3. 受取助成金等			
受取助成金		1,109,000	子どもゆめ基金、森林づくり応援団活動支援
4. 事業収益			
自主事業収益		154,000	各プログラム参加費、森の学舎使用料
5. その他収益			
雑収入		12	預金利息 他
経常収益計			1,542,012
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
賃金	376,500		各プログラム、お地蔵さんの森
ボランティア評価費用	--		
人件費計	376,500		
(2)その他経費			
修繕費	45,300		お地蔵さんの森機材、森の学舎
諸謝金	50,000		各プログラム、お地蔵さんの森
印刷製本費	42,000		ecoスクールチラシ印刷(業者)
Webページ運営費	15,000		お地蔵さんの森
旅費交通費	172,150		各プログラム 他事業すべて
通信運搬費	5,930		同上
消耗品費	513,060		同上
損害保険料	14,360		各プログラム
その他経費計	857,800		
事業費計		1,234,300	
2. 管理費			
(1)人件費			
賃金	0		
人件費計	0		
(2)その他経費			
Webページ運営費	3,900		お地蔵さんの森
旅費交通費	10,000		森づくりボランティア協議会の総会・研修の出席 他
通信運搬費	31,000		助成金申請・報告、事務局電話料、森の学舎携帯
消耗品費	39,000		文房具、お茶代 他
諸会費	3,000		みやざき森づくりボランティア協議会
会議費	3,000		総会
研修費	5,000		各種研修、会員プログラム参加への充当
租税公課	2,300		印紙、印鑑証明 他
施設管理費	170,000		森の学舎(土地賃借料、浄化槽管理費、電気代) 他
雑費	0		
その他経費計	267,200		
管理費計		267,200	
経常費用計			1,501,500
当期正味財産増減額			40,512
前期繰越正味財産額			-1,540,270
次期繰越正味財産額	1,674,191		-1,589,782
			1,633,679
			森の学舎修繕費目的積立¥1,000,000含む

各プログラムとは下記の5プログラム

「四季をまるごと体験ecoスクール」「川をたのしく親しもう」「昆虫の写真を撮ろう」「森であそぼう」「春を楽しもう」

- 5 ※会費 正会員：5,000円(ただし特別正会員は1,000円) 賛助会員：5,000円(ただし特別賛助会員は1,000円)
特別正会員とは、社会に出る前の大学生や専門学校生と、同一世帯で2人以降の正会員で、総会での議決権など、通常の正会員と同じ権利を有します。特別賛助会員とは、同一世帯で2人以降の賛助会員です。
※目的積立：将来の大規模な森の学舎修繕に備えた積立をおこないます。現在、雨漏りがあるためシートで応急処置をしていますが、修繕費が認められる助成金等にて雨漏り修繕をしたいと考えています。その時に、目的積立を取り崩して自己資金部分に充当させます。
- 10

2021年度 事業別活動計画書(案)

科 目	四季をまるごと体験eecoスクール	川をたのしく親しまう	昆虫の写真をとろう	森であそぼう	春を楽しもう	お地藏さんの森	森の学舎整備(ビオトープを含む)	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益										
1. 受取会費										
正会員受取会費	--	--	--	--	--	--	--	--	68,000	68,000
賛助会員受取会費	--	--	--	--	--	--	--	--	11,000	11,000
2. 受取寄附金										
受取寄附金	--	--	--	--	--	--	--	--	200,000	200,000
3. 受取助成金等										
受取助成金	491,000	106,000	73,000	73,000	66,000	300,000	0	1,109,000	--	1,109,000
4. 事業収益										
自主事業収益	80,500	21,500	15,000	18,000	14,000	0	0	149,000	5,000	154,000
5. その他収益										
雑収入	--	--	--	--	--	--	--	--	12	12
経常収益計	571,500	127,500	88,000	91,000	80,000	300,000	0	1,258,000	284,012	1,542,012
II 経常費用										
(1)人件費										
賃金	198,000	45,000	15,000	39,000	27,000	52,500	0	376,500	0	376,500
人件費計	198,000	45,000	15,000	39,000	27,000	52,500	0	376,500	0	376,500
(2)その他経費										
修繕費	--	--	--	--	--	9,000	36,300	45,300	--	45,300
諸謝金	18,000	0	22,000	0	5,000	5,000	--	50,000	--	50,000
印刷製本費	42,000	0	0	0	0	0	--	42,000	--	42,000
Webページ運営費	--	--	--	--	--	15,000	--	15,000	3,900	18,900
旅費交通費	109,050	25,000	20,500	8,950	8,650	0	--	172,150	10,000	182,150
通信運搬費	2,030	0	3,900	0	0	0	--	5,930	31,000	36,930
消耗品費	180,020	40,100	10,400	26,250	22,790	198,500	35,000	513,060	39,000	552,060
諸会費	--	--	--	--	--	--	--	--	3,000	3,000
会議費	--	--	--	--	--	--	--	--	3,000	3,000
研修費	--	--	--	--	--	--	--	--	5,000	5,000
損害保険料	7,400	2,400	1,200	1,800	1,560	0	0	14,360	0	14,360
租税公課	--	--	--	--	--	--	--	--	2,300	2,300
施設管理費	--	--	--	--	--	--	--	--	170,000	170,000
雑費	--	--	--	--	--	--	--	--	0	0
その他経費計	358,500	67,500	58,000	37,000	38,000	227,500	71,300	857,800	267,200	1,125,000
経常費用計	556,500	112,500	73,000	76,000	65,000	280,000	71,300	1,234,300	267,200	1,501,500
当期経常増減額	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	20,000	△ 71,300	23,700	16,812	40,512

5 ※20名以上の参加者がないとボランティア保険の対象とならないため、各プログラム(四季をまるごとeecoスクール、昆虫と友だちになろう、森であそぼう、春を楽しもう)以外の活動への参加での事故やケガについては自己責任でお願いします。(ご自身の加入している損害保険での対応をお願いします)
 ※他に、古民家再生とたんぼ復活プロジェクトに係る収支が発生した場合には、補助科目(活動名)を増やして会計処理していきます。

10

議案Ⅲ. 役員改正(案)

役 職	氏 名	就任期間	報酬について
理 事 長	横山 謙一	2021年4月1日～2023年3月31日	報酬無
副 理 事 長	鵜戸 隆司		
理 事	井澤 光一		
	工藤 恵理香		
	横山 純子 加納 七五三		
監 事	佐藤 伸光		



事務局/森の学舎：宮崎県東臼杵郡門川町大字川内字イカダ場 3412 番地 1

TEL 0982-63-0009 携帯：080-2696-5180

<https://www.kodomonori.info>

info20@kodomonori.info

facebook <https://www.facebook.com/npo.kodomonori>

協働創出市サイト <http://kyoudou.info>